

親子の笑顔が満開

フラワーアレンジメント教室

6月14日、市民会館講堂で、田川市子供会育成会連絡協議会（岡部裕實会長）が主催する「フラワーアレンジメント教室」が行われ、約70人の親子が参加しました。

これは、親子の交流を深めることを目的に毎年2回実施している教室で、今回で33回目。次回は来年の2月に実施予定です。この日は、飯塚花商組合（古賀勲会長）に所属する生花店主のみなさんの指導を受けながら、参加者はバラやガーベラなどの花を使って世界に一つだけの作品を作りました。

カーネーションが大好きという青木舞桜さん（田川小学校5年）は「いろいろな花を使って、かわいいものができて楽しかった」と笑顔で話しました。



▲「どうしたらきれいにきれいに見えるかな？」相談しながら丁寧に飾ります

ひとりではない。みんながチームだ

弓削田小学校人権・スポーツ教室

6月16日、弓削田小学校で「人権・スポーツ教室」が行われ、同校の5年生83人が「ライジングゼファーフクオカ」の選手とバスケットボールの練習などで交流を深めました。

この日は、同チームに所属する福智町出身の石谷聡選手が学校を訪れ、ドリブルやシュートなどの基礎を子どもたちに教えました。慣れないボールさばきに苦戦しながらも、次第にコツをつかむ子どもたち。4班に分かれてゴール数を競う場面では、作戦を話し合いながら次々にゴールを決め、体育館内には大きな歓声が響きました。石谷選手は「お互いの違いを認め合うことがチームの力。仲間と一緒に個性を磨いて頑張してほしい」と子どもたちを激励しました。



▲石谷選手(中央)に指導を受けながらシュートに挑む子どもたち

遊びの中に隠れた学びのヒミツ

わくわくドッキリDay!

6月22日、金川小学校体育館で、今回で10回目となる「わくわくドッキリDay！」が行われ、同校の1年生58人とその保護者の計約100人が参加しました。

これは「幼児教育研究ゆめコロリン」を主宰する津田利枝子さん考案の取り組みで、遊びの中で生活に必要な社会性などを育むもうと毎年実施しているもの。参加者は「うたからみつけて」や「けんけんぱ」など頭と体を使った12の遊びを体験しました。参加した吉武麻理子さん、冨志郎くん親子は「似ている野菜の違いや数の数え方など、子どもが難しいと感じていることに改めて気づかされました」「箸で豆をつまむことがうまくできて嬉しかった」とにっこり。



▲本物の野菜などを使った体験に夢中になる子どもたち